

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			多目的室と学習室に分かれていて、活動も工夫しながらしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			利用児に対して適切な職員数を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			バリアフリー化については、事業所開所時から整備済み
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			ミーティングや職員会の時に話し合い、目標設定と支援内容の確認をしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			毎年、アンケートを実施し保護者の意見を確認し、業務改善をおこなっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			ホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4		今年度から開始予定でしたが、コロナウィルスの為、実施延期しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1		研修会には、参加するようにしているが、今年度は延期や中止になっていることが多かった。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			最低6ヶ月に1回モニタリングを行い計画を作成している。(利用時にも、話はするようにしている)
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			事業所内でのツールを利用し個々の特性や状況を話し合い使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1		おおまかな活動目標を定め、職員間で話し合いながら活動プログラムを決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		児童の成長や状況などを考慮しながら判断している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			利用する子どもに応じて、活動内容を決め、事前準備等、行い支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			個々の児童の特性を十分に理解し、個別と集団の必要性を考慮したうえで作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			朝のミーティング時に実施。朝から利用の子どもがいるときは、前日・その日の合間の時間に確認するようにしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		できる時は、必ず話し合いをするが、状況によって次の日の朝に実施している。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		記録は、必ず書いている。支援の改善は、話し合いの時にしている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			6ヶ月に1度、モニタリングしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			支援の基本活動を意識して児童と関わっている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			児発菅・リーダーが主に相談支援事業所のサービス担当者会議に参加。電話での連絡の方が多い。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			学校によって違うが、行事予定や送迎時間等の1ヶ月の予定を渡してくれる。時間変更などあれば、電話連絡していただけるように連携している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4		これまで例がありませんが、必要性がある場合には、積極的に連携の体制に努めます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1		児童発達支援センターとの連携は取り、情報の共有をしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4	これまでに、放課後デイサービスから障がい福祉サービスへの移行なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			専用機関が開催する研修に参加していきたいです。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4		事業所を開放しての活動はしてないが地域の公園・科学館などで交流することはある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			4	地域の様々な会議に少しずつ参加していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			送迎時に必ず、保護者と共通理解をしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4			保護者からの悩みを聞いた時や支援で気づいたことがあるときなど、保護者にペアレント・トレーニング等の支援をしています。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			必ず、契約時に説明しています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			悩み事を相談された場合は、きちんと受け止め、助言と支援を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	2	父母会は、嫌がる家庭が半数ある為、検討中。小松島市・徳島市・阿南市で地域制も違い全体的には、難しい。違う方法で連携していきたい。(個人情報等機密保持の為)

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			迅速かつ適切に対応しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			月1回のリープ通信・SNS(Facebook)ラインを使用中。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4			書類関係は、鍵のかかるロッカーに保管しています。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			個々に合わせた伝達方法で情報提供しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	2	個人情報の守秘の為、慎重に検討中。避難訓練は、小松島西高校さんで実施させていただいています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			職員には、周知済み。時々、ミーティングにて確認。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			毎年、定期的に避難訓練を実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			虐待防止マニュアルでの研修や虐待防止の研修に参加しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			送迎時のシートベルト着用。保護者に説明・署名捺印してもらい記録をとっています。1年前から利用していない為、現在は、身体拘束の事例なし。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			アレルギーや服薬がある子に対しては、医師の指示書の提出・薬の依頼書に署名捺印していただいています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			全員でミーティングし共有しています。

○この放課後等デイサービス自己評価表は、放課後等デイサービスの事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。